



NEW YEAR CONCERT

2018. 1. 8 MON. 15:00
OTARU

PRE FINAL CONCERT

2018. 1. 14 SUN. 15:00
OTARU

OTARU VIOLA MASTER CLASS 2018

第14回 ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス

主催/ヴィオラマスタークラス実行委員会
小樽公演共催/小樽市民センター・マリンホール
助成/一般社団法人東京倶楽部/一般財団法人小野文化財団
奨学金助成/諸角 憲治
特別協賛/東洋化工株式会社

後援/(社)小樽観光協会/北海道新聞小樽支社/NPO法人小樽・朝里のまちづくりの会
協賛/(株)アンビックス/小樽・朝里クラッセホテル/ニセコ昆布温泉・ホテル甘露の森/(有)北海道新聞中販売所
北海道保険医会小樽後志支部/医療法人社団すみえ医院/医療法人清水桜が丘病院(釧路市)
ホンダカーズ小樽(株)/下山楽器/OSN小樽観光ネットワーク/(同)ウェーブ・ワイ
協力/エヌ・エス・ケービー(株)/ペンション・シャドウクラッセ/(株)AMATI
表紙画/版画「夜想」by アオヤマ ヤスコ <http://www.colorier.org/>

お問い合わせ/ヴィオラマスタークラス実行委員会 TEL.0134-54-4174 (高野)
EMAIL vmc.takano@gmail.com WEB <http://vmc-otaru.info/>

■ 第14回 ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス 2018

ニューイヤーコンサート New Year Concert

2018年1月8日(月・祝) 15時開演 小樽市民センター・マリナーホール

バッハ：カンタータ BWV 121 4. アリア

J.S. Bach：Cantata BWV 121, 4. Aria

大槻 晃士 (ヴィオラ・ダ・スパツラ)

細川 泉、桂田 光理、鈴木 慧悟、ウェイ・ワン、ジウン・パク、ハヤン・パク (ヴィオラ) 奥泉 貴圭 (チェロ) 古賀 大路 (オルガン)

杉山 洋一：ヴィオラ四重奏のための「子供の情景」より (原曲：R.シューマン)【大原美術館委嘱作品】

Y. Sugiyama："KINDERSZENEN" on R.Schumann for viola quartet (Commissioned by the Ohara Museum of Art)

今井 信子、サリー・チズム、辻 菜々子、ファイト・ヘルデンシュタイン (ヴィオラ)

プロコフィエフ：「ロメオとジュリエット」より (小早川麻美子編)

S. Prokofiev：Romeo and Juliet op. 64 (arr. Mamiko Kobayakawa)

ファイト・ヘルデンシュタイン、ハンナ・リー、小早川 麻美子 (ヴィオラ) 奥泉 貴圭 (チェロ) 高橋 優介 (ピアノ)

***** 休憩 *****

シューマン：おとぎの絵本 作品113

R. Schumann：Märchenbilder, Op. 113

今井 信子 (ヴィオラ) 草 冬香 (ピアノ)

ペンデレツキ：カデンツァ

K. Penderecki：Cadenza, for solo viola (1984)

大島 亮 (ヴィオラ)

バルトーク：44の二重奏曲 BB 104 (Sz. 98) vol. 1

B. Bartók：From 44 Duos BB 104 Sz. 98 vol. 1

今井 信子、ファイト・ヘルデンシュタイン、大島 亮、山本 由美子、サリー・チズム、ハンナ・リー、小早川 麻美子、神原 玲奈

田原 綾子、サンジン・イ、辻 菜々子、ヘス・イ、マーク・リウ、山本 一輝、ミンユ・シュ、キアンウィ・ホ (以上ヴィオラ)

プレファイナルコンサート Pre-Final Concert

2018年1月14日(日) 15時開演 小樽市民センター・マリナーホール

ヴィターリ：シャコンヌ

T.A. Vitali：Chaconne

山本 由美子 (ヴィオラ) 草 冬香 (ピアノ)

ヴィヴァルディ：ソナタ第6番 変口長調 RV 46 (大槻晃士編)

A. Vivaldi：Sonata in B♭ Op. 14 No. 6 RV 46 (arr. K.Otsuki for viola and viola da spalla)

ウェンティン・カン (ヴィオラ) 大槻 晃士 (ヴィオラ・ダ・スパツラ)

モーツァルト：弦楽五重奏曲 第3番 八長調 K.515 (第1, 2, 4楽章)

W.A. Mozart：String Quintet No. 3 in C KV 515 (1, 2, 4 movements)

後藤 和子、神原 玲奈 (ヴァイオリン) サリー・チズム、ウェンティン・カン (ヴィオラ) 奥泉 貴圭 (チェロ)

***** 休憩 *****

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 第2番 変口長調 K.424

W.A. Mozart：Duo for Violin and Viola in B♭ No. 2 KV 424

後藤 和子 (ヴァイオリン) 今井 信子 (ヴィオラ)

ヴィヴァルディ：弦楽のための協奏曲 RV 124 (大槻晃士編)

A. Vivaldi：Concerto for Strings Op. 12-3 RV 124 (arr. K.Otsuki)

井上 典子、辻 菜々子、マーク・リウ、サンジン・イ、湯浅 江美子、山本 一輝、ヘス・イ、ミンユ・シュ、キアンウィ・ホ (ヴィオラ)

奥泉 貴圭 (チェロ) 古賀 大路 (チェンバロ) 大槻 晃士 (指揮)

バルトーク：44の二重奏曲 BB 104 (Sz. 98) vol. 2

B. Bartók：From 44 Duos BB 104 Sz. 98 vol. 2

今井 信子、ウェンティン・カン、大島 亮、山本 由美子、サリー・チズム、神原 玲奈

井上 典子、細川 泉、鈴木 慧悟、ハヤン・パク、ジウン・パク、桂田 光理、湯浅 江美子、ウェイ・ワン (以上ヴィオラ)

プログラム・ノート／河相 美帆

Programme Notes Miho Kawai 2013~15年度ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス参加／フランクフルト音楽大学 修士課程

バルトーク《44の二重奏曲》全曲演奏によせて

「全ての芸術は、先立つ時代の芸術にその根を持っている」

人々が歌い継いできた民謡に『先立つ時代の芸術』としての大きな意義を見出したベーラ・バルトーク (1881-1945)は、度重なる戦火や急速に進む近代化によって民謡が遠からず失われてしまうという危機感から、作曲活動以上の情熱を民謡蒐集とその研究に傾けたことで知られています。こうしたバルトークの民謡研究家としての一面が色濃く反映されている《44の二重奏曲》は、ドイツの音楽教育家エーリヒ・ドフラインからの依頼を受けて1931年に作曲されました。技術的に易しいシンプルな旋律や形式を用いた、演奏技術だけでなく対位法や和声に対する感性をも育むことのできるヴァイオリン教則本の課題曲を、というドフラインの要望に対して、バルトークは彼が心血を注いで蒐集した民謡の旋律を用いて応えたのです。

バルトークをはじめとする多くの民謡研究家の功績により、《44の二重奏曲》の原曲となった民謡のほとんどが録音として残っています。人々の話し声や騒音までもが収録された音源を聴くと、その生命力、躍動感に驚くとともに、バルトークによって彫琢された本作品にもその魂がしっかりと息づいていることに気がつきます。音楽とは、私たちの感情や生活、あるいは存在そのものであり、またそれに寄り添う芸術なのだということをバルトークは証明しているのではないのでしょうか。

2016年春にハンガリーを旅し、現地の民族音楽家から10時間以上に及んで《44の二重奏曲》の指導を受けた今井信子は、世界各地で若い音楽家たちにその精神を伝える試みを続けています。2018年新春、今井が長年教育の場として力を注いできた小樽でもいよいよ全曲演奏が実現する運びとなりました。100年の時を経て蘇る人々の息遣いや生命の躍動を、皆様、どうぞお楽しみください。

■ 1月8日 小樽市民センター・マリナーホール

ニューイヤーコンサート

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ：

カンタータ BWV 121 4. アリア

ライプツィヒのトーマス教会のカントル(音楽監督)を

務めていたヨハン・セバスティアン・バッハ (1685-1750)

が、1724年12月26日のミサのために作曲したクリスマス・カンタータ。マルティン・ルターが独訳した《キリストをわれらさやけく頌め讃うべし Christum wir sollen loben schon》というコラールに基づいている。本日演奏されるのは第4曲目にあたるバスのためのアリア《ヨハネの喜び溢れる跳躍 Johannis freudenvollen Springen》。弾むような主題はテキストの愉しげな内容を表現している。本日は原曲の楽譜をそのまま用い、バス声部をヴィオラ・ダ・スパツラ、弦楽パートをヴィオラ、チェロ、オルガンの編成で演奏する。

杉山 洋一：ヴィオラ四重奏のための「子供の情景」

(原曲：R.シューマン)【大原美術館委嘱作品】

- 見知らぬ国と人々より
From foreign lands and people
- トロイメライ Dreaming
- 炉端で At the fireside
- むきになって Almost too serious
- 木馬の騎士 Ride a cock-horse
- 眠りの中の子供 Child falling asleep

1838年、ロベルト・シューマン(1810-1856)は後の妻となるクララに宛てて次のように記している。

「いつか君は僕に書いたでしよう?『時々あなたは子どものように思えます』って。この言葉がまるで魔法の筆のような働きをして、30ものちっちゃな可愛いやつが書けました。そこから13曲選び出して《子どもの情景》と名付けたんです」

本日は作曲家の杉山洋一による《ヴィオラ四重奏のための「子供の情景」》(2017年9月初演)から、6曲を抜粋してお送りする。

■初演時のプログラムに杉山洋一氏が寄せた解説より

ヴィオラ4本を使って、シューマンの音符の上に子供のいる風景を描く。説明なしに子供の視点で風景を映したい。未体験の手触りや匂いに反応しつつ、自ら駄々をこねて、自分より大きな誰かを困らせてみたい。遠い国々の人のことなんて解らないし、知らない言葉話す人たちと言われても、どれも妙ちくりんな言葉ばかりで、結局皆一緒くたである。ともあれ、あの人たちが微笑んだり喧嘩しているのは表情でわかるのだ。何とも不思議な光景。目の前で揺れている、馬面の突き出たこの物体は正に不可思議な存在であって、思わず考え込む。手を引かれるまま跨ってみると、おや、世界が回ってまるで違って見える。表情豊かにこちらの顔を覗き込みながら語りかけるこの紳士は、一体誰かしら。顔がだんだん近づいてくるが、不思議に怖くないのは何故?何を話しているのか分かるようでもあり、そうでない気もする。大原美術館の委嘱により作曲、今井信子さんに献呈。

セルゲイ・プロコフィエフ:「ロメオとジュリエット」

セルゲイ・プロコフィエフ(1891-1953)の《ロメオとジュリエット》は、1935年に作曲された全52曲から成るバレエ音楽。身体芸術の躍動感を想定した華やかなエンターテインメント性が魅力だ。本日は小早川麻美子の編曲による三本のヴィオラ、チェロ、ピアノの五重奏版で演奏する。小早川は各楽器のキャパシティを最大限に利用し、五つの楽器それぞれに多種多様な役割を与えること



▲ 2017年1月16日東京・浜離宮朝日ホールでの「フォーシーズンズコンサート」は、満場の聴衆の前で大熱演となりました。

で、プロコフィエフの色彩感豊かなサウンドを表現した。なお、ヴィオラの音域を考慮し、第2曲以外では原曲と異なる調へ移調し、演奏効果を高めている。

小早川版は5曲の抜粋で構成。これから始まる物語への期待が膨らむ幸福感に満ちた 1.《序曲 Introduction》に始まり、少女ジュリエットの魅力が多面的に表現された 2.《少女ジュリエット The Young Juliet》、キャピュレット家の強硬的な家風を象徴する重厚な舞曲 3.《騎士の踊り Dance of Knights》、自由闊達な性格のロメオの親友を描いた 4.《マキューシオ Mercutio》と続く。終曲の 5.《ジュリエットの死 The Death of Juliet》は、《ロメオとジュリエットの別れ Romeo bids Juliet Farewell》、仮死薬を飲んだジュリエットの葬儀の場面 《ジュリエットの葬式 Juliet's Funeral》、仮死から目覚めロメオの死を確認したジュリエットが自らの命を絶つ 《ジュリエットの死 The Death of Juliet》の3作品をメドレーとしている。

ロベルト・シューマン:おとぎの絵本

1850年、デュッセルドルフ交響楽団の音楽監督の職を得てライン河畔の街に移したシューマンは、気持ちも新たにチェロ協奏曲や交響曲第3番《ライン》などの代表作を生むが、この頃にはすでに精神疾患の症状がかなり進行しており、早くも翌年には音楽監督としての活動に滞りが見られるようになる。このような時期に作曲された《おとぎの絵本》(1851)は、シューマンの繊細で情緒豊かな内面を垣間見ることができる晩年の名作の一つである。

ヴィオラが奏でる二短調のメランコリックな主題によっ

て、私たちはおとぎの世界へと誘われる(第1楽章 Nicht schnell)。音楽はゆっくりと緊張感を高めていくが、何事もなかったように主題が回帰し、ミステリアスな余韻を残して終わる。続く第2楽章 Lebhaft は、馬のひづめの音のような軽快なリズムの主題に、ユーモラスな二つのエピソードが挟み込まれたスケルツォ風のロンド形式。第3楽章 Rasch は激しい感情がほとばしる嵐のような一曲。中間部に挿入されるヴィオラのピチカートとピアノのチャーミングな掛け合いは、再現部の緊張感を更に際立たせている。第4楽章 Langsam, mit melancholischem Ausdruck は穏やかな曲想でありながら、聴き手の感情を揺り動かすのに十分な詩情を湛えている。

■1月14日小樽市民センター・マリナーホール プレファイナルコンサート

トマス・ヴィターリ:シャコンヌ

16世紀のスペインに起源を持つ舞曲であるシャコンヌは、バロック時代になるとバツソ・オスティナートと呼ばれる短いバス定型の反復の上に展開される変奏曲の一つとして、好んで作曲された。トマス・ヴィターリ(1663-1745)は、イタリアのボローニャ出身のヴァイオリニスト兼作曲家。本作品は、ト短調に始まり変ホ短調にまで到達する大胆な転調がバロック時代の作品にしては規格外であること、また、死後100年以上が経過した1867年にドイツで出版されたヴァイオリン曲集に収録されて初めて世に知られたという経緯から、今日、ヴィターリの作曲であることは疑問視されている。しかしながら、私たちの感情を掻き立てる美しい旋律とドラマティックな展開は『ヴィターリのシャコンヌ』として世界中の演奏家と聴衆を魅了してやまない。本日は原曲の調性のまま、部分的にヴィオラに合わせて音域を調節した編曲によって演奏する。

アントニオ・ヴィヴァルディ: ソナタ第6番 変ロ長調 RV 46

イタリア・バロックを代表する作曲家アントニオ・ヴィヴァルディ(1678-1741)は、生前に少なくとも10曲のチェロと通奏低音のためのソナタを作曲したと考えられて

クシシュトフ・ペンデレツキ:カデンツァ

ポーランドの作曲家・指揮者であるクシシュトフ・ペンデレツキ(1933-)は、楽器の特殊奏法や不協和音を駆使した前衛的な作風で第二次世界大戦後を代表する作曲家としての足場を築いたが、「アヴァン・ギャルドは人間の感情からあまりにも離れてしまった」という理由で、徐々に西洋音楽の伝統的な書法に回帰していく。

この過渡期にあたる1984年にヴィオラ協奏曲(1983)の付随曲として作曲された無伴奏ヴィオラのための《カデンツァ》は、緩急緩の明快な三部形式から成り、不協和音を多用しながらも比較的共感しやすい内容となっている。深い孤独から激しい慟哭に至る感情のうねりがドラマティックに表現された一品で、今日では《カデンツァ》のみで演奏される機会も多い。

いる。作品14としてまとめられ、1740年に出版された6曲の最後を飾るのが、本日お聴き頂く作品である。冬の日差しのように穏やかな第1楽章 Largo、裏拍を強調した快活なリズムが特徴的な第2楽章 Allegro、第3楽章 Largo は下降する半音階を多用した沈鬱な雰囲気です。ソナタ全体の構造を引き締め、第2楽章と類似したテーマが華麗に展開される協奏曲のような性格の第4楽章 Allegro で華やかに幕を閉じる。チェロの相手役を務める通奏低音はバロック音楽の最も重要な要素の一つで、このパートに何の楽器を用い、記譜された数字を元にどのように和音を奏でるかは、全て演奏者の裁量に委ねられている。バロック音楽はジャズのような即興性を持っているのだ。本日、ヴィオラ・ダ・ス・パツラ奏者の大槻氏は楽曲のキャラクターをどの様に捉え、味付けをするのか?二人の奏者が繰り広げる対話に注目だ。

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト: 弦楽五重奏曲第3番 八長調 K. 515

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-1791)は、弦楽四重奏にヴィオラを一本加えた編成の弦楽五重奏曲を6作残している。特に晩年に作曲された第3番から第6番は、充実した内声部がもたらす奥行きのある響きと適材適所に配された五つの楽器が織りなす音楽

の大きな流れが実に見事であり、モーツァルトの最高傑作として名高い。1787年に作曲された第3番は、翌年作の交響曲41番《ジュピター》と同じハ長調。本日は第3楽章を除く抜粋で演奏する。

第1楽章 Allegro

内声群の軽快な和音の刻みに乗ってチェロと第一ヴァイオリンが掛け合う堂々とした幕開け。伸びやかな旋律が堂々と音楽を率いていく。転調が矢継ぎ早に繰り返される展開部は疾走感に溢れ、この楽章全体の骨格を引き締めている。

第2楽章 Andante

第一ヴァイオリンと第一ヴィオラによる二重協奏曲風の緩徐楽章。胸に沁み入るような繊細なハーモニーの移り変わりのなかで、細かな音符によって縁取られた美しい旋律が二つの楽器によって艶やかに歌い上げられる様は、まるでオペラのアリアのよう。

第4楽章 Allegro

軽やかで愉しげな主題がロンド風に回帰し、様々なキャラクターが描き出される。巧みに配された五つの楽器が一つのモチーフを次々に担う部分は、万華鏡を覗いているかのような愉しさがある。

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト： ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲第2番 変ロ長調 KV 424

モーツァルトの二つのヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲(1783)は、病に倒れ依頼を遂行できなくなったミヒャエル・ハイドン(1737-1806・ヨーゼフ・ハイドンの弟)の代わりに作曲された。偶然ウィーンからザルツブルクに帰省していたモーツァルトがミヒャエルの家



で瞬刻間に作曲したという、いかにも彼らしいエピソードが残っている。第1楽章 Adagio-Allegro は32分音符の連なりが心地良い序奏に導かれるソナタ形式。展開部に現れるシリアスな性格のカノンは、チャーミングなこの楽章に緊張感と室内楽的な面白さを加えている。第2楽章 Andante cantabile では、ヴァイオリンが詩情豊かな旋律を歌い上げ、ヴィオラはバルカローレ(舟歌)風の規則的なリズムを奏でる伴奏役に徹している。第3楽章 Andante grazioso は付点リズムがいかにも愉しげなテーマと、それに基づく六つの変奏、コーダから成る。技巧を駆使した掛け合いを、二つの楽器が対等に繰り広げる。

アントニオ・ヴィヴァルディ： 弦楽のための協奏曲 二長調 RV 124

捨て子の養育を行うヴェネツィアのピエタ慈善院は、音楽の才能のある子女の育成に力を注いだことで知られている。ヴィヴァルディはこの慈善院付属の合奏団のために多くの協奏曲を作曲した。1729年出版の協奏曲集作品12に収録された本作品は、全楽章を通じてシンプルなモチーフが使われ、均整の取れた構造を意識していることが窺える。第1楽章 Allegro は、山びこのように反復される軽快な上行スケールと、トゥッティ(総奏)のユニゾンによる下降音型のモチーフのコントラストが印象的。第2楽章 Grave は口短調の哀しげなハーモニーの中、旋律が重々しく紡がれていく。最後の数小節で突然ユーモラスなキャラクターが登場する不思議な構成。第3楽章 Allegro はシンプルな主旋律によるフーガで、楽曲全体に堂々とした風格を加えている。

◀ 2014年1月12日、10周年記念コンサートのアンコールで「J. S. バッハ：ヴィオラ・ダ・ガンバソナタ BWV.1027」を演奏する、後藤和子(ヴァイオリン) 今井信子(ヴィオラ) 奥泉貴圭(チェロ) 草冬香(ピアノ)。会場：小樽市民センター・マリナーホール

プロフィール Profiles



■ 講師／ヴィオラ奏者

今井 信子 Imai Nobuko

東京生まれ。国際的ヴィオラ奏者として、ソロや室内楽で活躍、CD録音は50タイトルに及ぶ。ヴィオラのための音楽祭<ヴィオラスペース>や<東京国際ヴィオラコンクール>の創設など、世界の音楽界を牽引してきた。その功績に対しサントリー音楽賞、文化庁芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、旭日小褒章など数多くの賞が贈られる。現在アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院、上野学園大学で後進の指導も行っている。2003年ミケランジェロ弦楽四重奏団結成。

2004年より小樽市で「ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス」講師を務め、2012年より小樽ふれあい観光大使。



■ 講師／バロック・スペシャリスト

大槻 晃士 Koji Otsuki

米国テンプル大学大学院合唱指揮科、東京藝術大学大学院古楽科(バッハ研究留学)、インドアナ大学古楽科博士課程にて学ぶ。テンプル大学での指揮法講師を経て、現在は古楽アンサンブルの客演指揮、バロック音楽の講師やコンサルタントとして、またヴィオラ・ダ・スパツァ奏者としての活動に勤む一方、米国マルボロ音楽祭で音楽司書長として芸術監督内田光子氏らのサポートに従事。近年は当音楽祭でバッハ・カンタータの指導に尽力する。バッハを鈴木雅明とヘルムート・リリンクに、バロックヴァイオリンを若松夏美とスタンリー・リッチーに、古楽アンサンブルを鈴木秀美の各氏にそれぞれ師事。東京と米国フィラデルフィアでガムット・バッハ・アンサンブル主宰。現在フィラデルフィア在住。



■ 編曲／ヴィオラ奏者(1月8日出演)

小早川 麻美子 Mamiko Kobayakawa

桐朋学園芸術短期大学ヴィオラ専修卒業。今井信子氏の推薦により同氏が教授を務める上野学園大学に研究生として2010年から2012年次在籍。編曲を野平多美氏に師事。2011年より編曲に着手し、バロックからロマン派を中心とした数々の名曲をヴィオラをメインにした室内楽曲にアレンジ、国内外の数々の音楽祭や演奏家に作品を提供。サントリーホールやブルーノートでの独創的な演奏会企画にも注力している。



■ 専属ピアニスト

草 冬香 Fuyuka Kusa

東京芸術大学、同大学院修士課程修了。ドイツ国立フライブルク音楽大学ディプロム課程、ソリスト課程をそれぞれ最優秀の成績で卒業、国家演奏家資格を取得。第4回ローゼンストック国際ピアノコンクール第1位、アルトゥール・レプティエール国際ピアノコンクール第1位等受賞多数。ソロだけでなく、室内楽においても意欲的に活動、東京国際ヴィオラコンクールでは、全三回において公式ピアニストを務めている。東京芸術大学非常勤講師を務めたのち、現在は演奏活動の傍ら、洗足学園音楽大学附属音楽教室非常勤講師を務める。これまでに、杉本安子、渡部有子、小林仁、伊藤恵、ギルアド・ミシヨリの各氏に師事。



■ ヴィオラ・アシスタント

ファイト・ヘルテンシュタイン

Veit Hertenstein (1月8日出演)

ジュネーヴ音楽院において今井信子にヴィオラを、タカチ四重奏団に室内楽を学ぶ。2009年、第1回東京国際ヴィオラコンクールにて第3位と聴衆賞、同年ヨーロッパ放送連合コンクールで第1位。2011年ヤングコンサートアーティスト国際オーディション最優秀賞受賞。ヴェルビエ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭、東京のヴィオラスペース等に参加。現在はパーゼル交響楽団首席ヴィオラ奏者、ドイツ・デトモルト音楽大学教授。



大島 亮 Ryo Oshima

桐朋学園大学卒、同大学研究科修了。岡田伸夫氏に師事。また、故ムステイスラフ・ロストロポーヴィチ、ロバート・マン各氏等の指導を受ける。第11回コンセール・マロニエ21第1位、第7回東京音楽コンクール第1位、第42回マルクノイキルヘン国際コンクールディプロマ賞受賞。国内の各オーケストラに客演し、室内楽奏者としても積極的に活動するほか、秋吉台室内楽セミナー講師として後進の指導にもあたる。現在神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。



山本 由美子 Yumiko Yamamoto

桐朋学園大学音楽学部卒業後、デトモルト国立音楽大学、ケルン国立音楽大学マスターコースにて、ヴィオラをブルーノ・ジュランナ、ライナー・モーク、今井信子、室内楽をアマデウス弦楽四重奏団に師事。1981年、ウォルフガング・ホックコンクール第1位、1982年、ジュネーブ国際コンクール銅メダル。1998年度バロックザール賞受賞。1983年、西ドイツ国家演奏家資格取得。現在京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、相愛大学音楽学部非常勤講師。



ウェンティン・カン Wenting Kang

ニューイングランド音楽院にて、ガース・ノックス、キム・カシュカシアンに、クロンベルク・アカデミーで今井信子に師事。2012年第2回東京国際ヴィオラコンクール第1位受賞以来、世界各地でキャリアを重ねている期待の若手ヴィオラ奏者。大らかで艶のある音色と精緻でエレガントな演奏に定評がある。2016年1月には大阪と東京で無伴奏リサイタルを成功に導く。同年2月よりマドリッドに居を移し、演奏活動の傍ら、ソフィア王妃高等音楽院にて、今井信子のアシスタントを務めている。(1月14日出演)



■ ゲスト／ヴィオラ奏者

サリー・チズム Sally Chisholm

プロ・アルテ四重奏団のヴィオラ奏者であり、米ウイスコンシン大学マジソン校のヴィオラ教授。

ワルシャワのウロンスキー国際ヴァイオリンコンクールの審査員を務め、スイスの Festival Der Zukunft に20年間出演、シェーンフェルト、ボルコム、シェイビーなどアメリカ現代作曲家の数多くの初演に携わっている。またシカゴのジョフリー・パレエ団首席ヴィオラ奏者であり、チャールズ・ナイディック、レオン・フライシャー、ピーター・ウイレイ、今井信子らと共に、ミネソタ室内楽協会の常任理事も務めている。

**■ゲスト／チェロ奏者****奥泉 貴圭 Takayoshi Okuizumi**

ドイツ・トロツィンゲン音楽大学を経て、2007年より2年間バイエルン国立歌劇場の契約団員として研鑽を積む。2006年度文化庁在外研修員。1998年札幌ジュニアチェロコンクール優秀賞。2004年ビバホールチェロコンクール第2位。2009年に帰国後、上野学園大学講師、オーケストラ客演首席奏者の活動を始めとし、ソロ、室内楽奏者として国内外で演奏活動を行っている。これまでにチェロを上原与四郎、河野文昭、原田禎夫、イフ・サバリーの各氏に師事。

**■ゲスト／ヴァイオリン奏者（1月14日出演）****後藤 和子 Aiko Goto**

桐朋学園大学、ジュリアード音楽院卒業。安田多恵子氏、故久保田良作氏、故ドロシー・ディレイ、川崎雅夫各氏に師事。98年よりオーストラリア室内合奏団（以下ACO）正団員、若手演奏家を育てるACOアカデミーの音楽監督兼リーダー。2006年「日豪交流年記念」イベントの一環で両国での演奏会を多数開催。2014年サイトウキネン・Gigコンサートで小澤征爾監督指揮のもとでコンサートミストレスを務め、2017年8月小澤音楽塾で後進の指導にもあたる。2016年日豪友好協力基本条約調印40周年記念して外務大臣表彰を受賞。

**■ゲスト／ヴァイオリン奏者（1月8日出演）****ハンナ・リー Hanna Lee**

韓国芸術総合学校、カーティス音楽院、ニューイングランド音楽院、クロンベルク・アカデミーを卒業。スン＝ファ・オ、サンジン・キム、ロベルト・ディアス、キム・カシュカシャン、今井信子の各氏に師事。Kallaci弦楽四重奏団ほか室内楽奏者やソリストとして、韓国、日本、欧米の音楽祭に招かれ国際的に活動。現在は韓国芸術総合学校とヨンセイ大学で教鞭をとっている。

**■ゲスト／ヴァイオリン、ヴァイオリン奏者****神原 玲奈 Rena Kohara**

相愛大学を卒業後、パーゼルとルツェルン大学院にてスイス連邦国家演奏家資格を取得、2つの修士課程を修了する。国内及びヨーロッパの様々な音楽祭に出演。現在は日本と欧州各地にてソロ及び室内楽の指導、こどものためのコンサートそしてアートワークショップを主催している。

**■ピアノ・アシスタント****古賀 大路 Taiji Koga**

上野学園大学音楽専攻科卒業。2009年第63回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会第1位、全国第3位並びに横浜市民賞受賞。2011年第80回日本音楽コンクール第3位。これまでに、永富啓子・横山幸雄・今野尚美・宮本玲奈・干野宜大・田中照子の各氏に師事。

**高橋 優介 Yusuke Takahashi**

上野学園大学音楽学部音楽学科演奏家コース卒、同大学音楽専攻科で研鑽を積む。第10回東京音楽コンクールピアノ部門第1位及び聴衆賞。芸術・文化若い芽を育てる会第5回奨学生。齋藤由里子、横山真子、宮本玲奈、横山幸雄、久保春代、川田健太郎の各氏に師事。

■受講生／ヴァイオリン

キアンウィ・ホ Qian Hui Ho (シンガポール)
シンガポール国立芸術評議会より奨学金を授与され、シンガポール国立大学音楽学部で、Zhang Man Chin氏に師事。

**細川 泉 Izumi Hosokawa**

ジュネーヴ高等音楽院にてヴァイオリンを今井信子氏、室内楽をガボール・タカーチ＝ナジ氏に学ぶ。ソロ・室内楽で活躍し、新作の初演も積極的に行う。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演、日本演奏連盟と文化庁の主催で、いづみホールにてソロリサイタルを開催。

**ミンユ・シュ Ming-Yu Hsu** (台湾)

カーティス音楽院。2016年ターティス国際ヴァイオリンコンクールにてセミファイナリスト並びに"Penny-Cress Trust Bursary"を受賞。

**桂田 光理 Hikari Katsurada**

東京藝術大学2年。第16回日本演奏家コンクール弦楽器部門第1位、第24回日本クラシック音楽コンクールピオラ部門第3位、第7回日伊協会コンコルソ・ムジカルテ優秀大賞。Z.ゴグア、山本由美子、市坪俊彦の各氏に師事。

**井上 典子 Noriko Inoue**

リヨン国立高等音楽院、フライブルク音楽大学で研鑽を積む。店村真積、T.アダモプロス、W.クリストの各氏に師事。フランス国立管弦楽団、アルデオ弦楽四重奏団のメンバーを務め、欧州各地で演奏会を行う。2016年12月より新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者。

**ヘス・イ Hae-sue Lee** (韓国)

カーティス音楽院。2015年ヨハンセン国際コンクール第1位、2016年ターティス国際ヴァイオリンコンクールでセミファイナリスト。

**サンジン・イ Ching Han Lin** (韓国)★

2013年ターティス国際ヴァイオリンコンクールに於いて特別賞を受賞。カーティス音楽院を経て2016年9月よりジュリアード音楽院在学。

**マーク・リウ Mark Liu** (台湾系アメリカン)

クリーブランド音楽院にて音楽学士、及びケースウエスタンリザーブ大学で芸術学士を修了。2017年よりピーボディ音楽院に在学。

**ハヤン・パク Hayang Park** (韓国)★

延世大学3年。クロンベルク・アカデミー・フェスティバル等の国際音楽祭やセミナーに参加。2017年、第15回東京音楽コンクール弦楽部門第3位。

**ジウン・パク Ji Eun Park** (韓国)★

2014年から2016年までロサンゼルス・コールパーン音楽院にて Helen Callus氏に師事。現在はジュリアード音楽院にて Toby Appel氏に師事。

★印はアジアからの受講生に対する奨学金助成対象者。

**鈴木 慧悟 Keigo Suzuki**

2014年ザルツブルグ＝モーツァルト国際室内楽コンクール第1位。桐朋学園大学音楽学部を経て2016年よりカーティス音楽院在学。藤原浜雄、佐々木亮、Roberto Díazの各氏に師事。

**辻 菜々子 Nanako Tsuji**

第10回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門大学の部第2位。第4回Kアンリミテッド弦楽器コンクール特別優秀賞。東京藝術大学を経て、2017年よりデトモルト音楽大学にて ファイト・ヘルテンシュタイン氏に師事。

**田原 綾子 Ayako Tahara**

第11回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞、第9回ルーマニア国際音楽コンクール全部門グランプリ受賞。桐朋学園大学卒業、現在はパリ・エコールノルマル音楽院にてブルーノ・バスキエ氏に師事。



ヴィオラの里 ころろおぼえ

ヴィオラマスタークラス実行委員会 代表 高野み

ヴィオラマスタークラスは2019年1月の第15回をもって終了します。真冬の小樽朝里川温泉で地域の皆さんに生まれ、100人を超える卒業生が世界に羽ばたきました。その軌跡を2回に分けて振り返ります。

今井信子さんから「日本人向けにマスタークラスをしたいのだけど、場所は小樽がいいと思っているの」という電話を受けたのは2003年7月末。そのころ私はクラシック演奏会を自主企画運営する市民グループ「アプローズ453」のメンバーとして、小樽市民センター・マリナーホールを中心に活動しており、96年以来今井さんの演奏会も小樽で3度開催、12月には彼女が結成した「ミケランジェロ・カルテット」を招く予定でした。

一夜限りの演奏会とは異なり、レッスンを受ける受講生の募集、宿泊やレッスン会場の確保などマスタークラスの運営は、ちょっと想像しただけでも行政が関わるような大きなプロジェクトです。ですが私の住んでいる朝里地区には地域の町おこしに力を注ぐ「NPO法人小樽・朝里のまち



朝里のまちづくりの会が毎年1月3日に朝里クラッセホテルで行う新年会には第3回から今井やマスタークラス関係者が招かれる。ミニ演奏会の後は一緒にゲームに興じて和やかなひととき。写真は2012年、今井は家族と小樽で新年を迎えた。

**ウェイ・ワン Wei Wan** (中国)★

2012年王立ノーザン音楽大学卒、2016年アムステルダム音楽院修士課程を修了。王立ノーザン音楽大学ヴァイオリンコンクールで第1位。今井信子、トーマス・リーブル、Á.Valdimarsdóttir、P.Katanicの各氏に師事。

**山本 一輝 Itsuki Yamamoto**

桐朋学園大学音楽学部ヴァイオリン科3年。ヴァイオリンを佐々木亮氏に師事。クアルテットのメンバーとして、ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール2014コース部門第2位。

**湯浅 江美子 Emiko Yuasa**

桐朋学園大学音楽学部4年在学。第8回横浜国際音楽コンクール大学の部第1位。ヴァイオリンを佐々木亮氏に、ヴァイオリンを豊田弓乃氏に、室内楽を毛利伯郎、磯村和英、山崎伸子の各氏に師事。

づくりの会」がありました。当時の事務局長で北海道新聞中販売所の中一夫さんにマスタークラスのことを相談すると、同会員で小樽・朝里クラッセホテル総支配人の前川勝美さんに取り次いで下さり、その日の内に三人で面談しました。中さんが「僕たちはヴァイオリンのことは全くわからないけど、夢のあるまちづくりに音楽が加わるのはとてもいいと思うから応援しましょう」と、まちづくりの会での主催を引き受け、前川さんが「宿泊や食事、会場などで協力できることは相談にのるから」とおっしゃって下さって、マスタークラス開講に向けて始動したのが、2003年8月22日でした。

まちづくりの会と朝里クラッセホテルからは現在まで変わらぬご支援・ご助力をいただいています。良き人々との出会いがあつてこそその15年間だと心から感謝しています。

第1回 2004年7月26日～31日

今井信子、岡田伸夫（講師）鈴木慎崇、草冬香（ピアノ）受講生16名（2クラス）
▶7/29 今井信子演奏会（朝里クラッセ）
ミヨー：ヴァイオリンソナタ第1番、テレマン：ファンタジー第8番、第6番、ヴェータン：カプリッチオ、成田為三：浜辺の歌、モーツァルト：ケーゲルシュタットトリオ（ゲスト・清水まゆみ）▶7/30, 31スチューデントコンサート（朝里クラッセ）

▶その他訪問演奏会（特養老人ホーム望海荘、ケアハウス朝里川温泉、朝里整形外科病院）ホテルロビー演奏会（朝里クラッセ、マリンヒル、小樽蔵群）

（財）野村文化財団、（財）太陽北海道地域づくり財団から助成金を得て小樽・朝里のまちづくりの会が主催。受講生はテープ審査で応募者24名から選抜。海外を拠点とする今井に代わって洗足学園大学教授の岡田伸夫氏が、予備審査やピアニストの紹介、クラス編成等に尽力されました。演奏会は朝里地域各所で行われ、地元住民や宿泊客に好評でした。まちづくりの会交歓会は屋外でのバーベキューパーティーとなり小樽の夏を満喫しました。

第2回 2005年7月25日～30日

今井信子、岡田伸夫（講師）鈴木慎崇、草冬香（ピアノ）受講生17名（2クラス）▶7/28今井信子演奏会（マリンホール）シューマン：幻想小曲集、野平一郎：戸外にて、ピアソラ：ル・グラン・タンゴ、モーツァルト：弦楽五重奏曲第4番（ゲスト・マリンホールカルテット）▶7/29,30学生コンサート（朝里クラッセ）▶7/30一般公開レッスン（プチホテルろーまん、ペンション・シャドウクラッセ）▶その他訪問演奏会（特養老人ホーム望海荘、ケアハウス朝里川温泉、南小樽病院）ロビー演奏会（朝里クラッセ）

北海道後志支庁地域政策総合補助金を得て小樽・朝里のまちづくりの会が主催。小樽市民センター・マリンホールでの演奏会では、札幌交響楽団首席ヴィオラの廣狩亮らで結成されたマリンホールカルテットに今井が加わって、モーツァルト弦楽五重奏を披露しました。

第3回 2007年1月4日～10日

今井信子（講師）草冬香（ピアノ）受講生6名、カルテット1組▶1/8 今井信子演奏会（マリンホール）モーツァルト：ヴァイオリンソナタ ホ短調、ブラームス：ヴァイオリンソナタ第2番、武満徹／細川俊夫編曲：ア・ストリング・アラウンド・オータム、ブラームス：ヴァイオリンソナタ第1番▶1/9 ゆらぎの里音楽シンポジウム&ミニコンサート、学生コンサート（朝里クラッセ）▶1/7 一般公開レッスン（プチホテルろーまん）▶その他訪問演奏会（特養老人ホーム望海荘、ケアハウス朝里川温泉、小樽協会病院）

北海道後志支庁地域政策総合補助金を得て小樽・朝里のまちづくりの会が主催。この回より開催時期を1月に移し、マスタークラスも今井講師によるヴィオラと室内楽クラス編成としました。それに伴い、幾つかの新しい試みとして「小樽の冬の楽しみと音楽」をテーマに札幌交響楽団の西村善信専務理事、朝里クラッセホテルの前川支配人、小

樽出身の音楽家・辻博之氏と今井信子による音楽シンポジウムを開催。また今井はマリンホール演奏会でヴァイオリンとヴィオラの二刀流も披露。ジュピターカルテットが出演した小樽協会病院での訪問演奏会も大好評でした。

第4回 2008年1月4日～10日

今井信子（講師）草冬香（ピアノ）受講生7名、カルテット1組▶1/7 ヴィオラマスタークラスコンサート（マリンホール）ポーエン：4つのヴィオラのための幻想四重奏曲、ルクレール：2つのヴィオラのための6つのソナタから第1番、ハイドン：弦楽四重奏曲ト長調、シューベルト：アルペジオーネ・ソナタ▶1/9 スチューデントコンサート（朝里クラッセ）▶その他訪問演奏会（豊倉小学校、ケアハウス朝里川温泉、小樽協会病院）

小樽・朝里のまちづくりの会が主催。この年は朝里川温泉地区の豊倉小学校を訪問、児童30人と保護者による新年会で楽器紹介などのアウトリーチ活動を行いました。また、まちづくりの会の協力で、会員の林東洋さんを案内人に、かんじきを履いて歩く雪山散策では、連日のレッスンから開放されて誰もが子供のように大はしゃぎでした。



クラッセホテルの裏山での雪中かんじき散策

第5回 2009年1月4日～10日

今井信子（講師）田中利恵（ピアノ）受講生8名、カルテット1組▶1/9 ニューイヤーコンサート（マリンホール）ハイドン：弦楽四重奏曲二短調作品76-2、ベートーヴェン：三重奏曲作品87、フランク：ソナタ、シューベルト：音楽に寄せて・道しるべ・春の夢・セレナード、バッハ：ブランデンブルク協奏曲第6番（ゲスト・助川龍）▶1/9 スチューデントコンサート（マリンホール）▶1/10 まちづくり交歓会&ミニコンサート（クラッセ）小樽・朝里のまちづくりの会が主催。この回からマリンホールで昼に学生コンサート、夜にニューイヤーコンサートを実施、ヴィオラ10名にチェロ、コントラバス、チェンバロという大編成にも初挑戦。諸角憲治氏による「アジアからの受講生に対する奨学金制度」もスタートし香港と韓国の2名が対象に。またピアニストに田中利恵、アシスタントに山本由美子が新たに加わりました。（次回に続く）

ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス参加者 2004年～2018年

- | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>■講師
今井 信子 Imai, Nobuko 04～18
岡田 伸夫 Okada, Nobuo 04～05
大槻 晃士 Otsuki, Koji 15～18</p> <p>■ヴィオラ受講・アシスタント・ゲスト（96名）
阿部 春花 Abe, Haruka 08, 09
赤坂 智子 Akasaka, Tomoko 04, 05
青木 篤子 Aoki, Atsuko 04, 05
有田 朋央 Arita, Tomohiro 12, 15
朝吹 園子 Asabuki, Sonoko 04, 05
エンチ・チェン Cheng, En-Chi 12, 14～17
サリー・チズム Chisholm, Sally 18
越後 なつみ Echigo, Natsumi 07
藤原 右京 Fujiwara, Ukyo 17
深澤 麻里 Fukazawa, Mari 09, 10, 12
後藤 彩子 Goto, Ayako 04, 05
ジャオティ・グオ Guo, Xiaoti 14
芳賀 明子 Haga, Akiko 08
イエジン・ハン Han, Yejin 11, 12
ヘイウォン・ハン Han, Hae-Won 10
原 裕子 Hara, Yuko 05, 07, 08
原 麻理子 Hara, Mariko 07, 08, 14
橋本 歩 Hashimoto, Ayumi 10
林 雄一郎 Hayashi, Yuichiro 04
ファイト・ヘルテンシュタイン Hertenstein, Veit, 15～18
廣狩 亮 Hirokari, Akira 04, 05, 07
キアンウィ・ホ Ho, Qian Hui 18
細川 泉 Hosokawa, Izumi 18
ミンユ・シュ Hsu, Ming-Yu 17, 18
ヨジン・ファン Hwang, Yeo-Jin 09
飯 顕 Ii, Akira 09
井上 望美 Inoue, Nozomi 10
井上 典子 Inoue, Noriko 13, 14, 18
ジュイ・カン Kang, Jui 05
ウェンティン・カン Kang, Wenting 18
叶澤 尚子 Kanouzawa, Naoko 05
笠川 恵 Kasakawa, Megumi 05
加藤 大輔 Kato, Daisuke 09, 10
桂田 光理 Katsurada, Hikari 15, 17, 18
河相 美帆 Kawai, Miho 13, 14, 15
金 孝珍 Kim, Hyojin 04
ソンウン・キム Kim, Sungeun 05
セジュン・キム Kim, Ce-June 10, 11
木下 雄介 Kinoshita, Yusuke 13
小早川麻美子 Kobayakawa, Mamiko 13～18
神原 玲奈 Kohara, Rena 12, 13, 14, 18
小泉 理子 Koizumi, Ayako 05
小峰 航一 Komine, Koichi 05, 07</p> | <p>小笹 文音 Kozasa, Ayane 17
ウェイティン・クオ Kuo, Wei-Ting 10
シムル・ライ Lai, Ting-Ru 13
ティムウエイ・ラム Lam, Tim-Wei 09, 15
ハンナ・リー Lee, Hanna 18
スンウォン・リ Lee, Seungwon 13
ファウン・イ Lee, Hwayoon 16
サンジン・イ Lee, Sung-Jin 16, 18
ヘス・イ Lee, Hae-sue 17, 18
チンハン・リン Lin, Ching-Han 13～17
ジャンジュエン・リウ Liu, Zhangjuan 16
マーク・リウ Liu, Mark 18
シェン・リュウ Lu, Xiang 11
前 南有 Mae, Nau 05
牧野 葵美 Makino, Kimi 09, 10, 12
丸山 奏 Maruyama, Kanade 07
松田 みどり Matsuda, Midori 09, 10
松本 有理 Matsumoto, Yuri 04, 05
松山 香澄 Matsuyama, Kasumi 09, 10, 12
三木 香奈 Miki, Kana 10
ウィリアム・マレー Muray, William 16
中 恵菜 Naka, Meguna 13, 15
小熊 佐絵子 Oguma, Saeko 04, 05, 07
沖田 孝司 Okita, Koji 10
大野 若菜 Ono, Wakana 11, 12
大島 亮 Oshima, Ryo 04, 05, 08, 12～18
ハヤン・バク Park, Hayang 17, 18
ジウン・バク Park, Ji Eun 18
タマーシュ・ロジヨシュ Rozsos, Tamas 10, 11
坂口 翼 Sakaguchi, Tsubasa 04
猿渡 美穂子 Saruwatari, Mihoko 11
ジユ・シェン Shen, Ziyu 15, 16, 17
正田 響子 Shoda, Kyoko 16
須田 祥子 Suda, Sachiko 04
杉中 景子 Suginaka, Keiko 04
杉田 恵理 Sugita, Eri 08
鈴木 慧悟 Suzuki, Keigo 14～18
田原 綾子 Tahara, Ayako 14, 15, 16, 18
高橋 奨 Takahashi, Susumu 05
高尾 真里恵 Takao, Marie 11
瀧本 麻衣子 Takimoto, Maiko 04, 08
冨田 大輔 Tomita, Daisuke 04, 05
スシェン・ツァイ Tsai, Shih-Hsien 12
坪之内 裕太 Tsubonouchi, Yuta 16
辻 彩子 Tsuji, Ayako 04
辻 菜々子 Tsuji, Nanako 16, 17, 18
ウェイ・ワン Wan, Wei 18
渡部 咲耶 Watabe, Sakuya 14, 15
山口 真 Yamaguchi, Makoto 11, 13</p> | <p>山本 由美子 Yamamoto, Yumiko 09～18
山本 成 Yamamoto, Naru 15, 16, 17
山本 一輝 Yamamoto, Itsuki 17, 18
湯浅 江美子 Yuasa, Emiko 18</p> <p>■ヴァイオリン（11名）
後藤 和子 Goto, Aiko
市川 映子 Ichikawa, Eiko
井上 静香 Inoue, Shizuka
川又 明日香 Kawamata, Asuka
北野 紫帆 Kitano, Shiho
三原 久遠 Mihara, Hisao
永井 公美子 Nagai, Kumiko
佐橋 まどか Sakitsu, Madoka
島田 真千子 Shimada, Machiko
清水 まゆみ Shimizu, Mayumi
植村 太郎 Uemura, Taro</p> <p>■チェロ（5名）
廣狩 理栄 Hirokari, Rie
宮田 大 Miyata, Dai
奥泉 貴圭 Okuizumi, Takayoshi
ポール・ウィアンコ Wiancko, Paul
吉岡 智広 Yoshioka, Tomohiro</p> <p>■コントラバス
斎藤 正樹 Saito, Masaki
助川 龍 Sukegawa, Ryu</p> <p>■ピアノ（8名）
有吉 亮治 Ariyoshi, Ryoji
飯村 智子 Iimura, Tomoko
古賀 大路 Koga, Taiji
草 冬香 Kusa, Fiyuka
鈴木 慎崇 Suzuki, Yoshitaka
高橋 優介 Takahashi, Yusuke
田中 玲奈 Tanaka, Rena
田中 利恵 Tanaka, Rie</p> <p>■チェンバロ
吉見 伊代 Yoshimi, Iyo</p> <p>■バンドネオン
三浦 一馬 Miura, Kazuma</p> <p>■クラリネット
西田 佳代 Nishida, Kayo</p> <p>■箏
難波 加奈子 Nanba, Kanako</p> <p>■バリトン
辻 博之 Tsuji, Hiroyuki</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※敬称略・アルファベット順・数字は受講参加年
※2006年は夏期から冬期へ移行のため開催なし

Congratulations!

地域の文化とまちづくりを応援します
北海道新聞中販売所
小樽市新光 4-1-16
☎ 0134-51-2121 FAX.52-0088

森の天空 露天風呂

大自然の壮大な景色に洗われる瞬間
五感すべてが解放されるひととき
心に止めておきたいくなる場所になる

ご宿泊プラン（1泊2食付）
■スタンダードルーム お一人様 11,800円(税別)～
■デラックス和洋室 お一人様 15,000円(税別)～

ニセコ昆布温泉 ホテル 北海道虻田郡ニセコ町415
Tel. 0136 (58) 3800
http://kanronomori.com/

雪ほたるの湯

やさしいホテルのイルミネーションに包まれてゆつたりと寝るやわらかな湯、森がくれる癒しを心ゆくまで味わってください。

露天風呂付客室プラン
3～4名様 1室ご利用 1泊2食付
お一人様・税込 16,350円より

スタンダードツイン宿泊プラン
3名様 1室ご利用 1泊2食付
お一人様・税込 12,030円より

小樽 朝里クラッセホテル
小樽市朝里川温泉2丁目676 TEL 0134-52-3800
http://www.classe-hotel.com/